

いたわい



一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

〔発行人〕鈴木一良 〔編集・発行所〕（一社）茨城県福祉サービス振興会
〔編集委員〕小室博俊、安藤真理子、柳下文江、桐原久雄
〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館5階
TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799

介護予防・日常生活支援総合事業への取り組み

日立市、平成27年 4月実施、県内初！

2015年の介護保険制度改正の中核とされる「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」に4月から取り組んでいる日立市に、お聞きした。

喫緊の課題に 待ったなし！

日立市は、高齢化が国や県を上回る速度で進行しており、平成37年には市民の3人に1人が高齢者になると予想され、更なる対応が求められている。また、人口の減少も著しく、高齢化の進行とあいまって市民の経済的負担も厳しくなってくる。

この喫緊の課題に対応するには、「待ったなし、一日でも早い取り組みを」、「守りに入らず、攻めの姿勢で、積極的な展開を」を合言葉に、平成26年7月から取り組みを本格化し、早期



厚生労働省の説明資料

実施を目指した。

地域資源の洗い出し

市内には、概ね小学校区を単位に地区住民で組織されている23のコミュニティ推進会（平成元年に改称）、シルバー人材センター、市営の老人ホーム・老人福祉センター、社会福祉事業

団など多様なサービスを提供できる地域資源があることから、これらの資源を活用できないか、総合事業のサービス類型ごとに移行の是非を探った。

決め手は、培ってきた取組と従前サービスが基本でも移行可能との国の見解

「コミュニティ推進会の地域福祉部門では「一人暮らし高齢者への定期的な訪問や見守り隊の配置」、「体操やレクリエーションなどを行う、ふれあいサロン」など多様な福祉活動が、活発かつ円滑に行われていた。

これらの活動を総合事業の一つである住民主体による訪問型あるいは通所型サービスの提供に生かそう。

福祉関係団体にも働きかけを行い、モデル事業として取り組むことで内諾を得た。

また移動支援は、住民が事業主体で運営する乗り合いタクシー等の既存の

取組を充てることにした。

これらが決め手となった。

「完ぺきな形でなくてもスタートできる」、光が見えた。

さらに、通所型サービスは半日ミニデイとして市直営の老人福祉施設で、経費型訪問サービスはシルバー人材センターからのヘルパー派遣を行うことなど、新しい総合事業の全てのサービスを当てはめ、検討した。

その結果、各団体等からの協力が得られる見通しがつき、実施可能との結論を導き出した。

また、国からは「従前サービス事業を基本として取り組んでも総合事業として扱う。」との説明もあつて、4月実施を判断した。

窓口対応、26事業をスムーズに

市独自の地域支援事業実施要綱で26の事業を定めた。

制度の移行に伴う混乱を回避し、適切なサービスを提供するには、その入り口となる窓口の対応が極めて重要であることから、独自の窓口確認表を作成した。

介護予防・日常生活支援総合事業 対象者確認票			
受付日(/)	所属()	受付者名()	
本人	被保険者番号		
	氏名	() (歳)	
	介護度	要支援 1・2	
	有効期限終了日	平成 年 月 日終了	
代理申請の場合 (本人以外が申請する場合のみ記入)	代理人氏名	(姓 名)	
	代理申請理由	入院中・一人で歩けない・本人に頼まれた その他()	
【確認内容】 介護予防・日常生活支援総合事業についての説明 (済・未)			
項目	確認事項	チェック欄	
今後、利用希望するサービスの内容	1 「訪問介護」の生活支援(掃除や買い物等)サービスを利用したい ×自宅・内職等は、ケアマネジストンで決定されます。	<input type="checkbox"/>	
	2 「通所介護」を利用して、他者との交流や運動する機会をつくりたい ×自宅・内職等は、ケアマネジストンで決定されます。	<input type="checkbox"/>	
	3 一人で自宅で入浴できないので、デイサービスで入浴したい 入浴できない理由()	<input type="checkbox"/>	
	下記の介護予防サービスを利用したい(希望するサービスに○)		

窓口確認票

利用者が希望するサービスは何か、一人で外出できるか、介助が必要か、など13項目の設問を用意して、経験、職制等を問わず、職員のうち誰が対応しても同様の結果を得られ、迅速に、適切で、的確にサービスを提供できるようにした。

現場の声、スピーディー!

ケアマネジャーからは、「介護認定には2カ月必要だったが、ほんの数日で事業対象者となるので、とてもス



通所介護風景

ピーディー」、「利用者本人の負担も軽減できている」などと、高齢者(家族)からは、「更新の相談に行ったら、その日のうちに決めてくれ、数日後には新しい保険証がもらえて助かった。昨年は、病院、自宅での調査など大変だった」などの声が少しずつ聞こえてきている。

介護事業者は

市の取り組みについて通所型サービスを提供する事業者からは、「新しい

事業とこれまでの事業が混在するために、介護報酬の請求「コード等の変更が生じている。」との声が届く程度であるが、今後、意見交換、情報交換を重ね、充実に努めていくこととしている。

これからの取り組み

多様なサービスを提供するには、住民力が不可欠である。「ボランティア活動が介護予防につながる。」を合言葉に住民ボランティアを拡充する。併せて総合事業の効果を評価検証しつつ、地域包括ケアシステム構築に努めていく。

日立市高齢者保健福祉計画2015で掲げる努力目標、「初めて介護認定を受けるときの平均年齢82歳(2歳UP)」の実現に向け、住民力を結集して着実に歩み続ける、としている。

(日立市担当課 高齢福祉課)

あとがき

福祉に係る市の取り組みは積極的で、福祉のまちづくりに最重点で取り組んだ萬田五郎第四代市長(昭和三八年〜五十年)のDNAが生き続けていると感じた。

お知らせ・情報コーナー

講座・研修のお知らせ

キャリアアップを図る

今年度も（一社）茨城県福祉サービス振興会及び茨城県介護実習普及センターでは介護関係の講座、研修会を開講しています。

家族の介護を応援する「一般県民向け福祉講座」、介護職初心者・再就職者向けの「一人前介護塾」、専門職員を対象とする「介護技術講座」、リーダーを養成する「専門講座」など経験に応じて、キャリアアップを目指す講座を用意しました。

医療関係分野の充実

27年度は、これらの介護関係講座に加え、急変時の対応などを講義する「医療講座」、認知症への理解を深める「認知症講座」、さらには「リハビリ講座」、「感染症対策講座」などの医療関係分野の講座を充実しました。

受験対策など

また、「今年こそ絶対合格！」と銘

打った「ケアマネジャー受験対策講座」、リフトリーダー養成研修修了者を対象とする「リフトリーダーフォローアップ研修・リフトインストラクター認定試験」なども行います。

実践力ある講師陣

多彩な講座、研修（63コマ）では、内容の充実を図るとともに専門分野を極める実践力のある講師陣を配しました。

詳細は、当会発行「介護講座・受講者募集案内」又は「茨城県福祉サービス振興会ホームページ」をご覧ください。定員に達し、受付を終了した講座もありますので、ホームページで確認して申し込んでください。お願いします。



問い合わせ先

029 (241) 69939

(一社) 茨城県福祉サービス

振興会研修担当

福祉用具展示ホールの案内

見る・聞く・試す・選ぶ・実習する空間

場所 茨城県総合福祉会館2階

水戸市千波町1918

開館時間 9時～17時

休館日 土・日・祝祭日・年末年始

展示ホール見学

・ 展示品 約250点

・ 随時見学可

・ 福祉用具の試用体験

・ DVDの視聴

福祉機器特設展示コーナー

・ 最新の福祉用具の展示

（月替りで新機器紹介）

DVD・図書の貸し出し

・ 介護関係DVD 88本

・ 図書 58冊

貸し出し条件

・ 2週間以内

・ 一人、一回、3点まで

・ 料金 無料

相談・案内

・ 福祉用具の使い方、選び方

・ 介護保険が利用できる福祉用具、住宅改修

・ 関係行政機関・団体等への案内、販売店の紹介

・ 関係行政機関・団体等への案内、販売店の紹介



問い合わせ先

029 (244) 44255

(一社) 茨城県福祉サービス

振興会展示・相談担当

株式会社 ヤマシタコーポレーション 茨城営業所



代表者：中村 一男（所長）
〒310-0004 水戸市青柳町4262-2
電話：029-231-2001
FAX：029-231-1808
ホームページ：http://www.yco.co.jp
他、23都道府県41営業所

て仕事にあたり、私利私欲に走らず、正義を貫くこと。
「豊かに生きる」とは、社会に貢献し思いやりの心を持ってお客様に接し、気持ちに余裕を持って生きるということ。

静岡リンネサプライ株式会社として1963年に清水市で創業、1988年には高齢化社会を見据え福祉用具のレンタル・販売サービスなども開始、1993年に社名をヤマシタコーポレーションに改め、今年で52年を迎えた。

茨城営業所は、利用者への対応を強化するため、昨年1月に倉庫を併設した現在地に移転した。

常に利用者のことを考え、何が必要で何が無いかを適切に判断し福祉用具の提案ができるように努力をしている。

365日対応・万全の訪問点検サービスなど企業理念に誠実に、利用者が安心して在宅生活を送れるよう、誠心誠意行って参りたいという。

企業理念は、正しく生き！
豊かに生きる！

「正しく生きる」とは、誠意を持つ

株式会社 東和



代表者：山部 正彦（代表取締役）
本社
〒310-0845 水戸市吉沢町1060-2
電話：029-247-2111
FAX：029-247-7298
ホームページ：http://www.oatowa.co.jp
Mail：soumu@oatowa.co.jp
つくば営業所
〒305-0051 つくば市二の宮 3-13-4
電話：029-851-5711
FAX：029-852-0981

動作の邪魔をせず、深く前屈したときだけ腰をサポートするウエア。介護や腰を使う様々な現場でどうぞ。

●オゾン水

あらゆる菌を素早く除菌し、食品に接触しても残留しない。品質劣化が少なく、使い勝手に優れ、手洗い、洗濯、野菜やボトルの洗浄などにどうぞ。

●オゾンエアー機器

部屋・空間の除菌で感染症や花粉症予防、悪臭対策などに。

●レスキューアークア911

（携行用浄水器）
世界初のポータブル逆浸透膜浄水システム。風呂水・雨水・河川水などから「安心・安全な飲料水」が簡単に作れる。

業務内容

印刷機資材卸売
—IT機器・福祉機材販売
事務用機器の販売及び修理
コンピュータ関連サービス
福祉関連事業

（株）東和の主たる業務は印刷機資材卸売ですが、人が生きていくなかで助けとなる機器も扱うユニークな発想と柔軟さをもった企業です。こんなものがあつたら助かる、と悩んでいる人や施設の方など、どうぞお問い合わせ下さい。

福祉関連事業

●rakunie（ラクニー）
腰部サポートウエア

編集後記

日常生活のスピードを緩めて行動すると季節の移ろいや、新たな気づきに感動するものです。

時には、立ち止まる勇気を

（柳下文江）